

四国歯学会雑誌

第 7 卷 第 1 号

(平成 6 年 6 月 25 日)

SHIKOKU DENTAL RESEARCH

VOLUME 7 (JUNE 1994) NUMBER 1

学位論文

ヒト腺様扁平上皮癌細胞における 5-fluorouracil の分化・

アポトーシス誘導活性の検出……………白神 哲也…… 1

マウス唾液腺発癌における上皮増殖因子の役割……………辻本 仁志…… 21

Comparative study on reproducibility of three occlusal examination methods

Akemi TAKAI, Shuji SHIGEMOTO, Eiji YAMAUCHI, Masanori NAKANO and Eiichi BANDO…… 39

口腔扁平上皮癌細胞における EGF レセプターの過剰発現機構 ……………倉郷 貴敏…… 49

株化歯髓細胞が分泌するリン酸化蛋白について——歯髓オステオポンチンの同定と

1 α , 25-ジヒドロキシビタミン D₃による合成の制御—— ……………横田 美佳…… 63

イヌ実験的歯槽骨欠損部に移植したリン酸カルシウムセメントの組織内動態

および歯周組織の反応……………西村 安義…… 75

培養ラット耳下腺の増殖と分泌における蛋白質チロシンリン酸化の関与……………木下 史代…… 95

イソプロテレノール前処理によるラット耳下腺

アドレナリン β -受容体と分泌蛋白質の変動 ……………満 志偉…… 109

シスプラチンと 5-フルオロウラシルの抗腫瘍エフェクター細胞の誘導と

サイトカイン産生能の検索……………総谷 啓史…… 123

四国歯学会雑誌

第 7 卷 第 2 号

(平成 7 年 1 月 31日)

SHIKOKU DENTAL RESEARCH

VOLUME 7 (JANUARY 1995) NUMBER 2

総 説

E G F および関連プロテアーゼの唾液腺における発現 細井 和雄 147

侵害受容性ニューロンとカプサイシン 石塚 寛 159

歯科補綴学における音声科学

市川 哲雄, 森川 葉子, 鷹田 淳司, 堀内 政信, 羽田 勝, 市場 裕康,

佐藤 修斎, 多田 芳雄, 松本 直之 177

乳腺ミルック蛋白遺伝子の発現制御機構

—とくにプロラクチンレセプターの役割を中心に—

西川 聖二, 石田 浩, 永田 俊彦, 岡 孝己 187

原 著

Large Trigeminal Sensory Neurons Innervate the Mouse Lower Incisor Pulp. A preliminary
WGA-HRP study

A. HIURA, F. NASU, M. KUWAHARA and H. ISHIZUKA 193

学術講演

磁性アタッチメント—その基礎と臨床— 田中 貴信 197

会務報告 203

会 則 205

投稿規定 208

四国歯学会会務報告

第13回総会は、1994年7月2日(土)午後1時より歯学部大講義室にて開催された。河田照茂会長の挨拶に続き、西野理事を議長に選出して、以下の報告及び協議がなされた。

報告事項

1. 理事の交代

福井公明および高木知道理事が退任し、細井和雄、石塚 寛および三宅洋一郎各教授が理事に就任した。

2. 名誉会員の推薦

理事会において福井公明および高木知道前理事を名誉会員として推薦した。

3. 運営委員の選出

第7期(1994, 1995年度)運営委員として、学術；坂東永一、中野雅徳、編集；石塚 寛、樋浦明夫、会計；佐藤光信、吉田秀夫、庶務；長山 勝、力丸浩一が選出された。

4. 評議員の選出

第7期評議員として、山下菊治、樋浦明夫、金森憲雄、上野明道、浜野弘規、小野恒子、石川康子、塙 隆夫、林 祐行、松尾敬志、石田 浩、羽田 勝、中野雅徳、力丸浩一、吉田秀夫、住谷光治、有田憲司、岩崎祐一、富岡重正の19名が選出された。

5. 会員数(1994年6月25日現在)

会員総数525名(内訳：学内会員190、学外会員319、名誉会員6、賛助会員10)

6. 1993年度事業報告

1) 7月17日に第12回総会、第16回例会を歯学部大講義室で開催した。

2) 8月29日に小児歯科学講座、有田助教授を講師として夏期学術講演会を徳島県歯科医師会と共催により開催した。(徳島県歯科医師会館)

3) 四国歯学会雑誌第6巻第1号、第2号を発刊した。

4) 四国歯学会会員名簿を1994年3月に発刊した。

協議事項

1. 1993年度決算

収 入

	決 算 高	予 算 高	増 減
繰 越 金	10,389,269	10,389,269	
入 会 金	53,000	40,000	+ 13,000
本年度会費	1,536,000	1,444,000	+ 92,000
過年度会費	156,000	80,000	+ 76,000
賛 助 会 費	200,000	175,000	+ 25,000
論文掲載料	962,000	800,000	+ 162,000
広告掲載料	705,000	600,000	+ 105,000
賛 助 金	10,000	0	+ 10,000
雑 収 入	248,884	300,000	- 51,116
小 計	3,870,884	3,439,000	+ 431,884
合 計	14,260,153	13,828,269	+ 431,884

支出

	決算高	予算高	増減
学会開催費	50,000	100,000	- 50,000
会誌印刷費	1,707,431	2,400,000	- 692,569
通信連絡費	295,782	400,000	- 104,218
事務費	101,632	120,000	- 18,368
備品費	0	100,000	- 100,000
名簿印刷費	0	120,000	- 120,000
予備費	100,000	200,000	- 100,000
支出合計	2,254,845	3,440,000	- 1,185,155
繰越金	12,005,308	10,388,269	+ 1,617,039
合計	14,260,153	13,828,269	+ 431,884

会計担当の佐藤理事の説明及び中村監事の監査報告のあと、全会一致で承認された。

2. 1994年度予算

収入

	予算
繰越金	12,005,308
入会金	40,000
本年度会費	1,604,000
過年度会費	80,000
賛助会費	200,000
論文掲載料	800,000
広告掲載料	650,000
雑収入	250,000
合計	15,629,308

支出

	予算
学会開催費	100,000
会誌印刷費	2,400,000
通信連絡費	500,000
事務費	120,000
備品費	100,000
名簿印刷費	201,880
予備費	200,000
繰越費	12,007,428
合計	15,629,308

全会一致で承認された。

3. 監事の選出

第7期監事として、中村 亮理事および川田雄祥（県歯科医師会）を選出した。

4. 1994年度事業計画

- 1) 夏期学術講演会を8月25日に徳島県歯科医師会館において、田中貴信教授（愛知学院大学歯学部歯科補綴学第一講座）を講師として開催する予定である。
- 2) 四国歯学会雑誌第7巻第1号を6月25日に発刊し、第2号を1995年1月31日に発刊する。
以上の案件は、原案通り承認された。

四国歯学会
第17回例会・第13回総会
記 録

中江 英明, 尾崎 和美
恵比寿繁之

徳島大学歯学部歯科保存学第一講座

プログラム

日時: 1994年7月2日(土) (10:00~15:20)

会場: 徳島大学歯学部大講義室

開会の辞 河田照茂会長

就任講演

EFGおよび関連プロテアーゼの唾液腺における発現
徳島大学歯学部口腔生理学講座 細井和雄教授
侵害受容性神経とカプサイシン

徳島大学歯学部口腔解剖学第二講座 石塚寛教授

一般講演

1. Ca^{2+} 注入によるチタンの生体活性化

○塙 隆夫, 浅岡 憲三

徳島大学歯学部歯科理工学講座

2. 当科における腫瘍切除後の外科的再建

○宮本 洋二, 玉井健一郎

中西 宏彰, 藤澤 健司

林 英司, 力丸 浩一

長山 勝

徳島大学歯学部口腔外科学第一講座

3. ニフェジピン投与によるラットの実験的歯肉増殖の誘導

○近藤 保, 中川 正

西川 聖二, 片岡 正俊

永田 俊彦, 石田 浩

若野 洋一

徳島大学歯学部歯科保存学第二講座

4. レチノイドがヒト歯肉由来線維芽細胞の収縮力に及ぼす影響

○柳 浩成, 上岡 寛

天真 覚, 河田 照茂

徳島大学歯学部歯科矯正学講座

5. ヒト歯肉線下ブラークの研究

—ヒト歯周ポケットにおける歯周病原性細菌の局在性—

○野村由一郎, 松尾 敬志

6. 骨吸収における破骨細胞からのプロカテプシンL分泌機構

○田上佳保里, 上岡 寛

石川 啓詞, 三木 善樹

住谷 光治, 河田 照茂

徳島大学歯学部歯科矯正学講座

7. 歯学部2年次(早期体験実習者)の心理的状況

○原田 桂子, 有田 憲司

西野 瑞穂

徳島大学歯学部小児歯科学講座

閉会の辞 西野瑞穂副会長